

2026 年 10 月 14 日

世界観光指標（World Tourism Barometer） 2026 年 9 月号について

世界観光機関(UN Tourism)が 2026 年 9 月 17 日付で公表した標記報告書の概要を以下の通り御紹介します。

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

[International tourism holds steady with 0.4% growth in first half of 2026 as Middle East conflict and rising costs weigh on momentum](#)

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。

[World Tourism Barometer \(English version\)](#)

中東情勢の悪化やコスト上昇が成長の勢いを弱める中、国際観光は 2026 年上半期に 0.4%の成長を維持

世界観光機関（UN Tourism）が発表した最新の「世界観光指標」によると、2026 年 1 月から 6 月にかけて、国際観光客到着数は推定 6 億 9,000 万人となり、前年同期比で約 300 万人増となった。2026 年第 1 四半期の到着数は 2%増となったものの、4 月に 3%減、第 2 四半期には 1%減となった。これは、主に 3 月に始まったイースター休暇による暦上の要因と、中東紛争の影響によるものである。

その後、6 月の到着数は 3%減となった。西ヨーロッパでは一部のデスティネーションにおける熱波の影響もあって 6%減となったほか、東南アジアでは、アジア市場からの需要の低迷、地政学的緊張、中東を経由する航空便の運航への影響、渡航費用の上昇などにより、6 月の到着数が 5%減少している。また、オセアニアでも一部のデスティネーションが、第 2 四半期に台風シンラコウ（Sinlaku）の影響を受けたこともあり、6 月の到着数が 6%減となった。

中東情勢は、同地域をはるかに超えたデスティネーションにも影響を及ぼしている。このことは、相互につながり合う今日の世界においては、レジリエンスが場所を問わず、また危機発生時のみならず平時から構築されていることが必要であることを明確に示している。

UN Tourism のシェイハ・アルノワイス事務局長は「最新のデータは、観光セクターが厳しい状況に直面しながらも、前進する道を見いだしていることを示しています。観光の成長は継続しているものの、その成長は脆弱なものです。中東情勢は、同地域から遠く離れたデスティネーションにも影響を及ぼしており、このことは、相互につながり合う今日の世界においては、レジリエンスが場所を問わず、また危機発生時のみならず平時から構築されていることが必要であることを明確に示しています。」と述べた。

地域別の動向

UN Tourism の世界観光指標では、地域および準地域(subregion)別の分析結果を示している。

- 2026 年上半期、**アフリカ**（+4%）と**ヨーロッパ**（+3%）では到着数が堅調な伸びを記録した。一方、これに対し**アメリカ**では 2%増にとどまり、域内準地域ごとの結果にはばらつきが見られた。
- **アジア・太平洋**の到着数はこの 6 か月間で 1%増加したものの、航空ネットワークの混乱、航空運賃の高騰、情勢不安が域内需要に影響を与えたため、2019 年の水準を 11%下回ったままとなった。
- 北東アジアでは 2026 年上半期に 3%の伸びを見せた一方、南アジア（-5%）および東南アジア（-1%）は、前年同期比で減少を記録した。
- **中東**は、紛争の直接的な影響を受け、同期間 22%減となった。

2026 年 3 月初旬以降、この紛争は中東およびその他の地域の国際観光に悪影響を及ぼしてきたが、停戦の発表を受け、5 月から 6 月にかけて航空交通の混乱は徐々に緩和された。これにより、一部の航空路線が再開され、消費者心理にもばらつきはあるものの、回復の兆しが見られた。

今後の見通し

最新のデータおよび現在の地政学的な不安定性を踏まえ、2026 年の国際観光客到着数は、世界全体で 1～2%の増加にとどまると予測されている。これは、UN Tourismが1月に発表した3～4%の予測から下方修正されたものである。ただし、今後の見通しは、紛争が実際にどの程度長期化するか、また、それが原油価格や全体的なインフレにどのような影響を及ぼすかに左右される。

同時に、物価高や先行きへの不確実性を踏まえ、旅行者は引き続き価格に見合った価値を重視し、自宅近辺や国内の旅行を選ぶ傾向が続くと見込まれている。

関連リンク

[UN Tourism 世界観光指標](#)



[UN Tourism 世界観光指標 PPT 版](#)



○UN Tourism World Tourism Barometer (世界観光指標) とは

世界観光指標（バロメーター）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年 4 回を目処に公表されます。UN Tourism アジア太平洋地域事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○世界観光機関（UN Tourism）について

UN Tourism は、1975 年 1 月に設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UN Tourism アジア太平洋地域事務所は、UN Tourism の地域事務所として 1995 年に設立されました。アジア・太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問合せ先（メディア専用窓口）

※メディアの方は UN Tourism 本部へ直接、英語でお問合せください。

E-mail: comm@unwto.org Tel: (+34)

○お問合せ先（メディア以外）

UN Tourism アジア太平洋地域事務所（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

E-mail: info@unwto-ap.org Tel : 0742-30-3880